

News Release

2010年01月04日

ディーリンクジャパン株式会社

**MEF9 及び 14 認定 L2+ギガビットメトロイーサネットスイッチ
「DGS-3700 シリーズ」販売開始のお知らせ**

ディーリンクジャパン株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:廖 晋新(マーティ・リヤオ)、以下: D-Link)は、MEF9及び14の認定を受けているL2+ギガビットメトロイーサネットスイッチ「DGS-3700シリーズ」の2機種を2010年1月中旬からパートナー各社を通じて販売を開始いたします。

DGS-3700 シリーズは通信及びサービスプロバイダーが展開するメトロイーサネットサービスに焦点を合わせたギガビットメトロイーサネットスイッチです。本シリーズは、10/100/1000BASE-T 12ポート、または SFP 12 スロットからの2製品がラインアップされ、標準価格は下記の通りとなります。

- ・ DGS-3700-12(標準価格:¥258,000)
 - 10/100/1000BASE-T x 12 ポート
 - SFP コンボスロット x 4
- ・ DGS-3700-12G(標準価格:¥268,000)
 - SFP スロット x 12
 - 10/100/1000BASE-T コンボポート x 4



<DGS-3700 シリーズ>

上から DGS-3700-12、DGS-3700-12G

本シリーズは劣悪な環境下でも使用できる最高 65°Cまでの動作温度に対応し、システム温度によってファンのスピード調整やファンの稼働 ON/OFF を自動的に切り替える温度可変式静音ファンが搭載されています。AC/DCデュアル入力電力供給のモジュール、ファンモジュール、そしてダストフィルターのモジュール等のハードウェアインターフェイスも充実し、柔軟な配置ができるようコンパクトなデザインで、1U ラックにも収まるよう奥行きを 210mmに設計されています。

またメトロイーサネット機能として、リンクダウンを瞬時に検出し、ループ等の障害を防ぐことで、キャリアネットワークに信頼性を提供することができる Ethernet Rings Protection Switching (ERPS)機能(*1)を実装しています。さらに CFM(Connectivity Fault Management)(*1)等を含むイーサネット OAM 機能によりネットワークの状態を把握することができ、保守・運用性を高めることでネットワーク管理者の負担を軽減します。

DGS-3700 シリーズは Metro Ethernet Forum(以下 MEF)をとりまとめている Iometrix 社から MEF9 及び 14 の認定を受けています。MEF9 はユーザネットワークインターフェイス(UNI)でのイーサネットサービスの順応性をテストし、MEF14 はサービスパフォーマンス、帯域プロファイルレート、トラフィックマネージメント等のキャリアイーサネットサービスのテストを行ない、MEFの厳しい基準をクリアしていることを保証するものです。これの MEF 認証を取

得していることで、本シリーズ製品がメトロイーサネットマーケットに適し、十分な順応性を証明しているだけでなく、相互接続性を含むネットワーク製品として高い性能・品質基準を満たしていることを証明しています。

【MEF について】

MEF はネットワーク・電気通信サービスプロバイダー、ケーブル、ネットワーク機器、試験機関、研究施設、ソフトウェア会社、半導体等の 150 社から構成されているメトロイーサネットワークの普及と促進活動を行う業界団体です。MEF は世界的なキャリアクラスイーサネットネットワークのサービス採用を促進しており、MEF は世界中のキャリアイーサネットの技術仕様書、相互運用性を促進する実現協定など幅広い活動を行っております。現在の MEF メンバーの参加リストやフォーラムに関する詳しい情報は、MEF ウェブサイトを参照ください。

<http://www.metroethernetforum.org>

【D-Link 社について】

世界 68 ヶ国、166 拠点を有するグローバルネットワークベンダー・D-Link は 20 年の歴史を持ち、エントリーレベルからハイエンドまでのスイッチ、ワイヤレス LAN 製品群、メディアコンバーター、IP カメラ、ネットワークセキュリティ等、ネットワークの全分野を網羅する総合ネットワークソリューションを提供しています。D-Link はこれらの製品を”統合”させることを理念とし、現在はセキュリティと“グリーン IT”に注力しています。日本では OEM 事業を展開した後、2005 年 7 月に現日本法人を設立、自社ブランドメーカーとして、D-Link 製品の国内への浸透を図っています。

(*1)時期ファームウェアにてサポート予定